

進化する まちのにぎわい

種子が芽を出し、やがて葉を繁らせるように、まちは進化を続けています。生まれ変わった太田川駅と新しいまちは、新たになつたその駅前を始め、私たちのまちはますますにぎやかになっていきます。



●ソラト太田川



●観光物産プラザ



●日本福祉大学 東海キャンパス
(平成27年4月開学予定)
太田川駅西側には大学キャンパスも誕生予定。
駅前はますます発展していきます。



●どんでん広場(太田川駅前イベント広場)
一年をとおしてさまざまなイベントが開催され、市民の憩いの場になっています。



●噴水広場
太田川駅東側の水場は、夏になると水遊びを楽しむ子どもの声でぎやかになります。

新しくなつて活氣づく 「まちの顔」太田川駅

平成23年、名鉄河和線、常滑線の高架化事業の完成にともない、太田川駅が地上3階建てに生まれ変わりました。

「東海市の玄関口」にふさわしいその姿は、訪れる人に「伸びゆくまち」を印象づけてくれます。

高架化とともに、駅周辺の風景も一新しました。東口には、「どんでん広場」と240メートルのケヤキ並木が登場。さまざまなおイベントに活用され、市民の憩いの場としてすっかり定着しました。

駅前に建つ複合施設「ソラト太田川」には、子育てや市民活動を支援する市民交流プラザが併設され、毎日多くの人が利用しています。

また、駅に併設された「観光物産プラザ」では、東海市だけでなく、

新しくなつて活氣づく 「まちの顔」太田川駅

姉妹都市や知多半島全域の特産品などを始め、観光情報を提供し、地域全体の活性化に一役買っています。

胸はずむ新しいまちのかたち

さらに平成27年には、西口に新しい文化施設が誕生します。愛称の「ユウナル東海」は、細井平洲が上杉鷹山に贈った言葉「勇なるかな勇なるかな勇にあらずして何をもって行わんや」から命名されました。千席超の大ホールは、音楽、演劇、郷土芸能など幅広く対応。芸術にふれる場として、あるいは活動を発表する場として、市民の皆さんに親しまれる舞台となることでしょう。



●「ユウナル東海」
(平成27年3月完成予定)

低層階に店舗や文化施設、高層階に共同住宅の複合ビルを計画中。多目的ホールや1,000席超の大ホールを備えます。完成が待ち遠しい施設です。



●新文化施設大ホール



